

令和元年度学校教育自己診断の結果と分析

大阪府立吹田東高等学校

校長 佐々木 啓

- ・ 昨年度より、生徒・保護者ともに、多数の項目で肯定的な回答が増加しています。特に、「施設・設備」については新校舎に移転したこともあり、かなり満足度が上昇しました。安全で快適な学校生活を送れるよう、今後も維持・整備をしていきます。
- ・ 「授業に満足している」生徒が6割に留まったことについては、さらに満足度が上がるよう、授業アンケート等を参考により良い授業づくりに努めていきます。受験対応の学習指導以外にも様々な課題や問題を解決するための幅広い知識とそれを活用し自ら考える力を養うための取組みも行っていきます。
- ・ S講座は50.2%、教員による講習は84.2%と「役に立った」の回答は昨年より増加しましたが、参加者が僅かに減少しました。S講座は講習内容や実施形態を再検討し、受講者の増加に努めます。また教員の講習にも生徒の参加を促し、進路実現を支援していきます。
- ・ 進路指導、情報提供については生徒・保護者とも肯定的回答が8割を超えています。今後も個々に応じたきめ細やかな指導ができるよう、情報収集や研修を行っていきます。
- ・ 生徒指導面では、生徒・保護者ともに肯定的回答が増加しました。さらに本校の指導方針に理解が得られるよう、保護者の方と連携を密にし、生徒との自立と成長を第一に考えて、指導を行っていきます。
- ・ 「地域」や「大学」との交流を行っているという回答した生徒が増加しました。異なる世代の人たちとの交流で学ぶことも多いので、今後も外部機関との連携も継続していきます。保護者の方は、「わからない」と回答した方も4割以上でした。本校での取り組みを知っていただくためにも、広報活動に力を入れていきたいと思えます。またWebページの閲覧率低いので、増加するように、活用方法を検討していきます。
- ・ 「クラスが楽しい」「進学してよかった」との肯定的回答が増加しました。これらの項目で同等の肯定的回答が得られるように学習活動はじめ、部活動、学校行事など充実したものとなるよう、学校教育自己診断の結果やご意見を参考に努力していきます。